

議会だより

あしや

No.215

令和4年
11月25日発行

実りの秋
収穫に感謝！

9月
定例会

令和3年度決算	2P
条例、契約、その他	5P
町政を問う一般質問	11P
議会活動報告	19P

芦屋小学校稲刈り体験の様子

表紙の関連記事は22ページに掲載しています。

町民の安全・安心が 確保できた予算執行！

9月
定例会

9月1日～13日

令和3年度決算

条例・補正予算・その他

賛否一覽表

10月臨時会

一般質問

議会活動報告

子育て世帯臨時特別給付金
2億1340万円



芦屋港活性化推進事業費
2174万円



柏原漁港西防波堤
改修工事 3304万円



老人憩の家指定管理料
2761万円



昔より紙面が明る
くなって読みやす
いです。

T. Yさん(50歳)

一言イッタンピョー

議会だよりに一言！



令和4年11月25日 第215号

議会だよりあしや



令和3年度一般会計決算

総額 89億6346万円

(前年度比 16億1199万円減)

(1万円未満は切り捨て)



地域情報伝達システム整備工事

3億1823万円



巡回バス・タウンバス町内運行事業費

1億950万円



小中学校 ICT 事業費

7700万円



緑ヶ丘団地エレベーター設置工事 (6棟)

5090万円

主権者教育の推進に向け、小・中・高校生向けのページがほしい。



M.Kさん (56歳)

どんな活動をされているかが分かるので、どんどん発信してほしい。



H.Oさん (40歳)

決算質疑

？ 決算ここは

どうなっている？

アッシーの
議会豆知識

・ 質疑とは

議会で審議する案件を本会議や委員会てた
だすこと。

・ 討論とは

自分の考えに反対する議員や賛否を決めかねている議員に対し、賛同してもらうために意見を表明すること。

◆ 住民の交通手段

バス運行事業

(1億950万円)

問 バス運行事業に対する町の負担額はいくらか。

答 タウンバスと巡回バスの運行に伴う町の負担額は、運賃収入や補助金を除き、約2700万円である。

問 100円バスの負担金および試行運転の方向性はどうなるのか。

答 100円バス運行に伴う北九州市営バスへの負担金は240万円である。令和2年度6月から試行しており、利用者数などの調査から、本実施が廃止か試行継続を含め、地域公共交通活性化協議会で検討する。

◆ 図書館の利用促進

(1790万円)

問 電子図書館は検討しているのか。

答 令和3年度に岡垣町が導入しているの、現在情報収集を行っている。電子図書館は、新たに図書館を造るイメージと言われている、既存図書館の利用状況から、町にマッチングするかどうが見極める必要があると考えている。

◆ 移住定住促進

(3670万円)

問 令和3年度空家等実態調査を行っているが、今後この調査結果はどのように活用していくのか。

答 空き家の所有者に空き家バンクへの登録や老朽家屋解体補助金制度のチラシを配付する。

◆ 老人憩の家運営費

(2761万円)

問 前年に比べて利用者数は増加している。しかし現在、

寿楽荘はボイラーの故障で利用できず利用者減や今後も改修が必要になるかもしれない。アンケートの結果を参考に早期に今後の方向性を決断すべきでは。

答 18歳以上の1500人の住民と利用者にアンケートを実施する。今年度に結果を分析し、早めに決断したい。

※ボイラーは10月に改修済み



賛成討論

徴収率の向上や芦屋町独自の支援策が評価できる

本田浩議員



収入では、過疎対策事業ハード分・ソフト分での有効的活用、徴収強化による徴収率の向上、芦屋町ふるさと応援寄付金の増額。
支出では、地域情報伝達システム整備による町内全域への情報配信、防災士育成事業での新たな防災士誕生による安全対策の強化、公園コンクリート遊具整備工事による安心・安全な遊具の確保など、費用対効果を意識した施策が多数実施されており、評価できるため賛成する。



議会活動の内容が分かりやすくて良い。芦屋町のPR活動に力を。

I. Hさん(67歳)

一言インタビュー

議会だよりに一言！



令和4年11月25日 第215号

議会だよりあしや

◆高齢者の虚弱体質改善

(297万円)

問 フレイル予防DVDの配付状況は。

答 令和3年度は申請のあった65歳以上の世帯に308枚配付した。令和4年度からは健康教室や介護事業所に配付するなど、配付方法を変更した。イベントなどでの配付など、今後も周知し広く配付していきたい。

※フレイルとは

年齢を重ねると誰もが感じる虚弱の状態のこと



花美坂のサロン事業

◆産後のお母さんの

心と体をサポート

(7万円)

問 利用状況は。

答 デイサービスは1人3回、ショートステイは1人2回の利用があった。

問 利用者が少ないのは、周知や利用料金などが要因か。

答 周知が十分でなかったことが最大の原因と考える。今後の状況を見ながら利用しやすい事業に改善していきたい。



公園で遊ぶお母さんと赤ちゃん

条例

◆芦屋町私債権管理条例を制定

各部署で管理している私債権（住宅使用料・学校給食費・奨学金など）の滞納整理の手続きを統一し、効率的かつ適正な滞納整理を行うことを目的とした条例を制定します。

問 徴収が厳しくなって、民間の債権回収と同じようになるのでは。

答 滞納者の中には払わない者と払えない者が存在する。債務者が無資力などの理由によって納入できない場合は、履行期間の延期の特約がある。

反対討論

より一層の徴収強化につながる

川上誠一議員

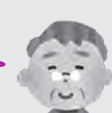
この条例により債権回収の強化が図られ、差し押さえなどが進むことが考えられる。昨年の差し押さえは103件であったが、この条例によりさらに増えることは避けられない。

町の行う債権回収は民間の債権回収と同じではない。「町民生活を守る」という視点が最大限尊重されなければならない。

町民にしっかりと寄り添い、生活再建まで支援を尽くすことが必要だ。



吹き出しの町民の声が目にとまり毎回「ほのぼの」と感じている。



T. I さん(80歳)

毎回興味をもって見ています。次回も発行を楽しみにしています。



S. I さん(62歳)

条例 契約

?

条例制定で

なにが変わる？

アッシーの
議会豆知識

・条例とは

地方公共団体の議会が制定する法規。国の法律に違反しない範囲内で制定することができるもの。

◆芦屋町環境美化推進委員会設置条例を制定

町民一人ひとりの環境美化に対する意識の向上を図り、町の施策への協力と提言を行い、清潔で美しい町づくりを目指すことを目的とした条例を制定します。

賛成討論

飼い主のいない猫問題の早期改善に期待

萩原洋子議員

問 委員の委嘱で町長が適当と認める者とは。

答 委員会の所掌事務に飼い主のいない猫の事項もあるので、弁護士や獣医などを想定している。



芦屋町環境美化推進委員会を条例に基づく町の付属機関として設置し直すことで、芦屋町における環境美化の促進やその保持がより図られるのではないかと思います。また、飼い主のいない猫の問題では多くの町民から環境被害の訴えがある。そのため、これを所掌事務に加え、さらに必要な時には委員の中に獣医師や弁護士などの専門家の参加も想定しており、よりスピード感をもって清潔で美しい町づくりが進むのではないかと期待している。



◆再犯の防止等に関する施策を計画的に推進するため条例を改正

芦屋町地域福祉計画推進委員会の所掌事務に、芦屋町再犯防止推進計画の策定と推進に関する事項を追加します。

問 再犯防止の施策とは。

答 再犯防止の施策は就労・住居・保健医療など多岐にわたっており、社会復帰の支援を考える上で総合的な取り組みとなる。

問 再犯防止の計画を策定するのであれば、保護司や警察OBなど専門の委員が必要では。

答 現在の委員で策定するように考えているが、計画の素案は保護司と連携を取った中で確認していく。また、必要に応じ専門家の意見を聞くことも考える。

◆芦屋釜の里収蔵展示施設改修工事請負契約の締結

▽落札業者
溝江建設(株)
▽落札金額
5億7944万7000円
(消費税込み)

問 入札参加者の辞退理由に技術者配置困難とあるが、どういうことか。

答 工事の入札にはさまざまな条件を付けていて、専任の技術者などを配置するといった条件もある。入札参加者は他の工事を受注していくため、芦屋町に受注しても技術者の配置ができず、事前に辞退したということが考えられる。



長い文書は読む気になれない。

Y.Oさん(82歳)

一言インクジョー

議会だよりに一言！



令和4年11月25日 第215号

議会だよりあしや



正算 補予

オミクロン株対応ワクチン接種費用など

1億6700万円の増額補正

補正のあった歳出の主な内容	補正額
新型コロナウイルスオミクロン株対応 ワクチン接種費用	8050万円
商工会補助金 プレミアム商品券発行事業に係る経費を商工会に補助	3750万円
創業促進支援事業補助金 町内で新たに創業を行う人が増加したため予算を増額	650万円
空き店舗等活用事業補助金 町内の空き店舗を活用して創業を行う人が増加したため予算を増額	209万円
あしや砂像展実行委員会補助 物価高騰により必要経費が増額となり予算を増額	565万円
芦屋東小学校特別支援学級整備工事	—
備品購入 学童クラブに Wi-Fi 環境を整備するための必要な機器を購入	—

※1万円以下は切り捨て。
※工事費と備品購入費は契約事項のため金額の公表を行っていません。



砂像制作風景

- 問** あしや砂像展実行委員会補助金が増額となった理由は、テント設置や型枠設置など物価高騰による委託料の値上がりである。

答 35%プレミアムで総額1億5000万円、うち住宅リフォームが2000万円である。
- 問** プレミアム商品券発行事業の詳細は。

答 プレミアム商品券発行事業の詳細は。

議員さんの活動で芦屋町のことが知れてもっと好きになっています。



R.Iさん(61歳)

以前と比べたら紙面が明るく読みやすくなった。



Y.Tさん(53歳)

議動

妹川議員に対する

辞職勧告決議が賛成多数で可決

6月21日（火）妹川議員が産業観光課窓口で職員と対話中に激高し、カウンター越しに怒声を上げた行為により、7月21日（木）町長から「妹川議員の怒声は、産業観光課のみならず隣の課まで響き渡り、職員の中には恐怖を感じた者、事務や電話を一時中断した者もあり、町の事務執行に支障を来した。このような言動は議員として極めて不適切であり、大変遺憾に思う。議員として良識ある言動に努めていただき、今後このようなことが行われないよう議会として適切に対処してほしい」との申入書が提出されました。

その後、横尾議員から妹川議員への辞職勧告決議を求める動議が出されました。

◆辞職勧告決議案の提出理由

議長が注意したにも関わらず、その過ちすら認めない。前回（北九州県土整備事務所での大声で怒鳴る行為）に引き続き、今回は2度目であり、妹川議員の言動は、芦屋町議会の品位と名誉を傷つけるだけでなく公人である町議会議員としての資質を欠いているため、辞職勧告決議を提出する。

問 両者の対応、妹川議員の取った言葉、議長に対して説明されたことの内容確認はどのようなされたのか。

答 決議案に書いてある。素直に謝ればよかった。

問 調査特別委員会をつくって真実を明らかにすべきでは。

答 事件が起きたのは6月、いまさら特別委員会をつくつ

て何を確かめるのか。なぜ自分たちで調査をしなかったのか。

反対討論

調査特別委員会を設置し事実を解明すべき

川上誠一議員

議員の身分に関わる辞職勧告を突然出されても、短時間で即決することはおかしいと考える。言われたような時系列の問題があるとすれば、議会で調査特別委員会を設置し事実を解明した上で、どういった処分にするか議員が判断することが必要だと考える。議員の多数を力に強行することには断固反対する。

賛成討論

常に自分の行動には責任を持つ

内海猛年議員

議員は、住民から選ばれた代表者として議会の構成員となり、人格・識見ともに優れた代表者であり、常に自分の行動には責任を持たなければならない。

妹川議員は、議長が厳重注意を行っていた席上「誰がそんなことを言っているのか」「そんなやわな職員ばかりなのか」「私を貶めようとしている」などと発言し、反省や謝罪の気持ちは全く見受けられなかった。

反省もなく再度の言動は、芦屋町議会の名誉を傷つける重大な行為である。



あまり読んでいないので、これから読もうかな。

I . Kさん(40代)

一言インタビュー

議会だよりに一言！



令和4年11月25日 第215号

議会だよりあしや

9月定例会で意見がわかれた議案の賛否一覧

議案の賛否を掲載しています。
※議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。
ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

○:賛成、×:反対、除:除斥を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	中西	長島	萩原	信国	本田	松岡	妹川	小田	川上	横尾	辻本			
芦屋町私債権管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	可決
令和3年度芦屋町一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	認定
令和3年度芦屋町国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	認定
令和3年度芦屋町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	—	9	2	認定
妹川議員に対する辞職勧告決議	○	○	○	○	×	○	○	除	○	×	○	—	8	2	可決

満場一致で可決、同意された議案

議案名	
芦屋町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	令和3年度芦屋町国民宿舎特別会計決算の認定
芦屋町地域福祉計画推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定	令和3年度芦屋町給食センター特別会計決算の認定
芦屋町環境美化推進委員会設置条例の制定	令和3年度芦屋町モーターボート競走事業会計決算の認定
芦屋町バス条例の一部を改正する条例の制定	令和3年度芦屋町公共下水道事業会計決算の認定
芦屋町保育所設置条例及び芦屋町立保育所苦情解決第三者委員設置条例を廃止する条例の制定	芦屋釜の里収蔵展示施設改修工事請負契約の締結
令和4年度芦屋町一般会計補正予算（第4号）	監査委員の選任同意
令和4年度芦屋町モーターボート競走事業会計補正予算（第2号）	令和3年度芦屋町モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分
令和3年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計決算の認定	

昔は文字ばかりで見にくかったが写真などが多く見やすくなった。



M.Mさん(71歳)

今後議会と町民が一体化した活動を行い、報告や情報発信してほしい。



T.Oさん(62歳)

10月
臨時会

国の物価高騰緊急支援

1億900万円の増額補正

◆低所得世帯に5万円

給付

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ、令和4年度非課税世帯や家計急変世帯に対し、1世帯当たり5万円を給付します。

問 家計急変世帯とは。

答 令和4年度は住民税課税世帯であるが、令和4年1月以降に予期せぬ事態により収入が減少し、非課税世帯と同様の収入状況となった世帯のこと。対象となる世帯は町に申請が必要。

問 家計急変世帯の対象となる収入の目安は。

答 令和4年1月～12月の間に1カ月でも非課税世帯同様の水準に収入が減少していれば申請は可能である。

問 例えば、年金暮らしの夫婦の世帯で夫が亡くなった場合は家計急変世帯に該当するののか。

答 基準日の9月30日より前に夫が亡くなった場合は、家計急変世帯となり確認書を送付する。なお、9月30日以降に亡くなった場合は、非課税世帯であること

を申し出る必要がある。

問 物価高騰で商業、漁業、農業事業者や高齢者・障がい者施設、さらには保育施設など大変になっている。今後、物価高騰に対する町独自の施策は考えていないのか。

答 商業、漁業、農業や保育施設では回答できないが、高齢者・障がい者施設などにはコロナ対策第11弾で5～10万円を給付している

ので、現時点では考えていない。

住民の声

町内で3人の子育てをしながら美容室を経営しています。物価高騰でさまざまな物が値上がりしたので、美容室メニューを少し変更して対応しています。お客様の送迎も行っているのですがソリン高騰も大きな打撃です。

芦屋町は独自のコロナ支援策をはじめ、さまざまなことにスピーディーに対応してくれています。今後も社会情勢を意識した町のみんなが助かる支援を期待しています。



大石 妃美呼さん
桃寧ちゃん(柏原区)

10月臨時会の議案の賛否一覧

○：賛成、×：反対を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	中西	長島	萩原	信国	本田	松岡	妹川	小田	川上	横尾	辻本			
令和4年度芦屋町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	11	0	可決



町政を問う 一般質問



一般質問会議録

9月2日に7人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などの所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。

ページ	質問議員	質問事項
12	松岡 泉	学校ゼロエネルギー化 防災・減災
13	川上 誠一	芦屋中央病院の交通体系 コロナ禍における原油価格・物価高騰等に対する農漁業支援
14	本田 浩	商店の現況、後継者問題及び町の事業者支援 地域公共交通の利用状況、利用者の声及び今後
15	信国 浩	城山及び魚見公園の維持管理 海浜公園周辺の現況と今後の対応策
16	萩原 洋子	循環型社会の推進 児童生徒の心身の健やかな発達と通学カバンの重さ
17	長島 毅	空き家対策の取組 移住定住促進に向けて
18	妹川 征男	公文書の管理 芦屋町職員倫理条例（掲載なし）

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継でご確認ください。



防災・減災

要配慮者の避難支援は

総務課長

共助の仕組みづくり強化

まつおか いずみ
松岡 泉

録画中継

問 今回の防災訓練では、要配慮者支援についての意見交換会が自主防災組織を主体として行われた。自主防災組織と町行政との関わり方は。

答 自主防災組織から訓練や出前講座などの要請があれば、地区の実情に合った指導、助言を行うこととしている。

問 意見交換会は住民だけでは解決できないことが多い。町の職員や防災士、民生委員などの参加を促すことが必要では。

答 問題解決に職員が入ることは重要であると考えている。必要に応じてこれらの参加を促していきたい。

問 ハザードマップの確認やマイトタイムラインの作成などのために、多くの自治体で防災アプリの導入が推進されているが、導入の考えは。

答 福岡県は今年度に防災情報提供アプリの導入を予

定している。「私の避難行動計画作成」機能があるので住民に周知していきたい。



要配慮者の避難に関わる意見交換会の様子

学校ゼロエネルギー化

問 脱炭素社会の実現が急務な中、学校施設は有意義な施設となっている。その効果は防災機能の確保や子どもの環境教育に活用できる。学校ゼロエネルギー化の取り組みは。

答 文部科学省と国土交通省が共催で、学校ゼロエネ

ルギー化推進方策検討会を設置し、報告書がまとめられている。学校設置者に対して、ゼロエネルギー化計画の作成を求められていないので、町では計画を策定していない。

問 学校ゼロエネルギー化計画がないが、学校のエネルギー量削減の推進は。

答 学校施設のゼロエネルギー化の必要性は理解している。施設改修を行う際は環境を考慮し、環境負荷の低減に配慮した整備に努めている。

問 ゼロエネルギー化に伴う子どもたちへの環境教育の取り組みは。

答 太陽光発電設備を整備した中学校では、発電状況などを校舎内のモニターによりリアルタイムで確認できる。整備したものを活用することは承知しているので、今後の施設整備の際の課題としたい。



芦屋中央病院の交通体系

シャトルバスの配置を

環境住宅課長

費用対効果の面で難しい

問 中央病院から芦屋方面に行くバスは平日でタウンバスが6便、市営バスが28便、巡回バスが14便で合わせて48便

あるが、北コースの田屋、山鹿方面は7便しかない。山鹿方面を拡充するためシャトルバスを配置すべきでないか。

答 車両の購入や運行委託費など費用の面から難しい。

また、同じ経路に無料のバスを運行させることは北九州市との公共交通の確保に関する協定書に相反することになる。町としては、100円バスの令和5年以降の期間を延長する議論を考えている。

問 高齢者の免許証返納や買い物難民対策のためにも

バスを配置し、交通体系の充実が必要である。巡回バスは午後2便しかないが、病院の利便性向上のため北コースの増便を検討すべきではないか。

答 路線の見直しや利便性の

向上施策は引き続き取り組み、利用者が増えるようであれば増便を含めた運行の見直しを考えたい。

コロナ禍における原油価格・物価高騰に対する農漁業支援

問 原油価格や物価が高騰し、厳しい経営状況にある農漁業事業者に対して岡垣町や宗像市、新宮町では農業機械や漁船の燃料使用量に応じて燃料価格の高騰分に対する補助を打ち出したが、芦屋町でも厳しい経営状況にある農漁業に対して支援すべきではないか。

答 原油価格の高騰などは住民生活にも影響を及ぼしている。農業・漁業についても燃料を使用しているので影響はあると考えている。現在町としては物価高騰などの影響を受けている事業者や住民に事業復活支援金の上乗せや、生活応援商品券の発行事業を行い、支援している。今後の国・県のコロナ

や物価高騰の状況を注視する。

問 燃油価格は令和2年で1㍽55円だったのが令和4年には1㍽102円と2倍に値上がりしている。イカ釣りの漁業者は年間の燃油代が約150万円になり、関連経費を含めると大変厳しいものになる。農業者も燃料費だけでなく肥料代などが高騰している。町も支援すべきではないか。

答 国・県の動向を注視する。



中央病院に停車するタウンバス

商店の現況、後継者問題、事業者支援

商店の現況と後継者問題

産業観光課長

重要課題として取り組む



本田 浩 ひろし



録画中継

問 商店の現況について、規模や商店数、職業種と後継者はどのように把握しているのか。

答 芦屋町商工会から、業種、店舗数、従業員数などは回答してもらったが、後継者情報は把握できていない。

問 事業者支援制度の中から芦屋町創業促進支援事業補助金の内容と、今まで申請された件数は何件か。

答 芦屋町内で創業する人を対象に創業費用の2分の1、最大200万円を補助する制度である。平成27年度から令和3年度末までに申請を受けた事業者数は、22事業者である。

問 芦屋町創業促進支援事業補助金に該当しない事業所も町内にある。該当する事業所の見直しは起業を考えている事業者にとって、芦屋町で起業するきっかけになると思うが。

答 芦屋町創業支援事業補助

金は、需要の増大や雇用創出を目的とし、新たに創業を行う者に補助金の交付を行っている。今後も創業を推進していくため、要綱の内容は経済の動向や創業に関するニーズなどを把握し、必要に応じて見直しを行っている。と考えている。

地域公共交通の利用状況、利用者の声及び今後

問 巡回バスが2路線から3路線に増便され2年が経過した。利用の状況は。

答 利用者は、2路線から3路線に増便された令和2年度が2万9502人、令和3年度が3万2354人である。

問 「足が悪いと近くでも荷物を持つての移動が難しい」という声がある。巡回バスを既定の経路や時刻表の無い予約型のバスであるオンデマンド式に

注1 一路線でも試行してはどうか。



役場前で待機している3路線バス

答 ドア・ツー・ドア方式は歩行が困難な高齢者にとっては大きなメリットがあるが、現在無償で路線運行している巡回バスをドア・ツー・ドア方式で運行することは、芦屋町が町内限定で無償のタクシー運行を行うという意味となり、民間事業者の圧迫につながりかねない懸念があり、さまざまな課題があるため、慎重な検討が必要になると考えられる。

※注1：オンデマンド

利用者からの要求があった際に、その要求に応じてサービスを提供すること。

信国

のぶくに

浩

ひろし



録画中継



城山公園及び魚見公園の維持管理

委託内容を見直す考えは

産業観光課長

必要に応じ内容を見直す

問

公園は安全・安心な環境整備が肝要であり、緊急時などは避難場所として活用できることが望まれるが、危険箇所に対する対策が取られていない場所がある。そこで、城山公園の今後の対応策は。

答

城山公園内では、現在注意喚起を行っている場所が1カ所ある。公園の維持管理は、巡回と委託業者による除草・清掃・巡視が中心であり、今後は異常箇所早期発見と対応のため、業者にも異常発見時は速やかに連絡してもらう。

問

城山公園中腹のトイレは、長年放置され廃墟と化し危険である。壊れても継続した維持管理をすべきだが、現状と今後の整備計画は。

答

城山公園の公衆トイレは、使用禁止としている。今後は撤去する予定だが、撤去までの間は安全策を講じて管理する。

問

近年の環境変化に伴い業務内容も様変わりしてきている中、柔軟な発想による基準の見直しと環境の変化にも対応した業務内容の見直しが必要となるが、今後、管理業務の委託内容を見直す計画は。

答

城山公園の委託内容は園路や園内の除草および中低木の剪定や清掃が中心である。毎年、費用対効果や現状を踏まえて検討し、必要に応じた内容の見直しを行っている。

問

海浜公園周辺には飛砂防止柵などが設置されているが、現在劣化により危険な状態で放置されている場所がある。早急に対策を講じる考えは。

答

維持管理は県が担うため、町としては現地の状況を適宜把握し、危険なものがあつた場合は、今後も県に対し対策を求めていく。

海浜公園周辺の現況と今後の対応策



使用禁止となっている城山公園中腹のトイレ

問

レジャープールアクアシアンは建築経過年数も長く、経年劣化による損傷が散見される。継続的な維持管理は多くの費用や労力が必要となるが、今後の厳しい管理体制に備えた整備計画や対策は。

答

整備計画については、長寿命化計画に基づき進めている。さらなる魅力の向上を目指し、安全に施設を利用してもらえるよう関係者と連携し、維持管理に努める。

萩原

洋子



録画中継



児童生徒の通学カバンの重さ

通学かばんの重さ対策を

学校教育課長

重さと体調の調査をする

問

文科省は、教科書などが過重になることで児童生徒の発達に影響が生じることの懸念などから各学校に工夫例を通知したが、今も通学かばんが重いとの声があるが見解は。

答

教科書のページ数は年々増え続け、英語や道徳の必修化で教科書も増え、2020年までの15年間で1・7倍になった。文科省の通知は町内の小中学校に周知し、適切に運用しているものと認識している。

問

小学1年で平均6・8^キ、中学生でも6^キ8^キのかばんを持って登校している児童生徒がいる。調査しては。

答

学校に通知し、調査する。

問

かばんの重さ対策となるデジタル教科書の活用は。

答

文科省の令和6年度導入を見据え、芦屋町は小学5年生・中学3年生の英語と国語の実証実験を行っている。



通学途中の中学生

問

中学校のかばんの肩紐は細く、クッションもないため生徒からは痛みの訴えがある。リュックタイプのかばんにリニューアルする考えは。

答

令和5年度にリニューアルする。

問

中学生の自転車通学エリアを拡大する考えは。

答

すぐに範囲拡大の約束はできないが、議題にのせたい。

問

小学校で水筒の水を補充できるようにしては。

答

十分に調査した上で方向性を見いだしたい。

循環型社会の推進

問

プラスチック資源循環法の施行で、今後のプラスチック使用製品廃棄物の分別収集は。

答

洗面器などの製品プラスチックも分別収集することになった。今後、北九州市の実証事業の結果を受け検討する。

問

マイボトルの推進や脱プラ実現を目指す考えは。

答

役場などの自動販売機のペットボトル飲料を減らし、紙パック飲料を増やすことでプラごみ削減の機運づくりやマイボトル普及の周知も図る。また、レジャー港化では自然環境に配慮した運営理念を掲げていく。



移住定住促進に向けて

移住・定住の将来像は

町長

空き家空き地を整理する

問 中古住宅解体後の新築住宅建築補助金制度の申請状況は。

答 令和3年度は申請2件、交付額190万円、令和4年度は現時点で申請5件、交付額470万円となっております。空き家の解消とともに定住促進にもつながっている。

問 空家・空地バンクの登録済み物件数と過去の成約数や移住者は。

答 現在、空き家が4件、空き地が2件で、平成28年の開始から合計23件の登録があり、うち17件は成約により登録抹消した。現状の運用では、売りたい人・貸したい人のみが町とやり取りを行うこととなり、移住目的かは確認できていない。

問 登録数が少ないが、周知や今後の取り組みは。

答 意向調査の郵送物や、固定資産税の納税通知書にチラシを同封し、周知を行った。

今後は、近隣の不動産会社にも

移住・定住支援関係のチラシや、

空家・空地バンクのチラシを送付し、町内外への周知も行う。

問 移住定住促進の将来像は。

答 まずは空き家空き地を整理し、空家空地バンクを通じて移住定住をしてもらう施策が熱を帯びていくと思っている。

問 空家等実態調査業務委託の概要や現状は。

答 空家家などの利活用や適正管理を促進することを目的として、委託事業者や町が把握している空き家情報を基にデータベースを作成し、現地調査を行った。

空き家対策の取組

問 現在までの空き家の推移は。

答 令和2年度は145件、令和3年度は180件となっている。

問 老朽危険家屋等解体補助金の申請・交付状況は。

答 令和2年度は申請17件、交付額102万5千300円、令和3年度は申請28件、交付額159万9千円である。解体後は建て替えや駐車場などに活用、また、売却され不動産の流動化につながっている。



町内の空き家（空家バンクに登録済み）

妹川征男



録画中継



公文書の管理

改ざんがあった場合は

総務課長

刑事事件も考えられる

問 芦屋町情報公開条例の目的は。

答 公開を求める権利を明らかにし、町行政に対する住民の理解と信頼を深め、住民参加による町政の進展に資することを目的としている。

問 公文書管理の専門家は『役所は記録が残っていると不都合』『記録にあっても出したくない』書類がある。決裁文書の改ざんは誰が、誰の指示で行ったのか。行政活動の質が悪かったり、適切性や合理性に欠ければ、行政文書の扱いや情報公開もおかしくなるのは当然」と話している。公文書の改ざんや隠蔽はなぜ起きるのか、町長に伺う。

答 公文書は町の意思決定であり、地方行政の基本である。公文書の改ざんや隠蔽はあってはならない。

問 議場内に配布している二

つの資料は、情報公開の開示日は異なるが同じ内容のものである。しかし、一方は「埋立て工事は町が発注したものか」という質問に対して「していない。」と記録され、もう一方は、その記録の一行が消し去られている。この二つの決裁文書は、課長、町長などの公印があるが、なぜ、何のために消したのか。決裁文書に押印した課長が「分からない。」では済まされない。二重帳簿ではないか。どちらが正しいのか。

答 ※今は、分からない。

問 職員が作成した公文書を都合よく改ざんする。そんなことがまかり通れば誰も行政を信じられなくなる。公文書が適正に保管されなければ、行政の政策決定が正しかったのかどうか町民が判断する材料も失われ、町民の知る権利を侵すことになる。

答 議員の質問は、「何か隠蔽

している。」と聞こえるが。

問 そんなことを聞いているのではない。もし、公文書の改ざんや隠蔽があった場合、民主主義を根本から否定する重大な犯罪行為である。公文書偽造罪、虚偽公文書作成罪に該当するが、芦屋町はどう対処するか。

答 万が一そういうことがあった場合には、刑事事件になるということも考えられる。

③令和3年8月19日(木)
妹川議員 窓口応対(16時00分～16時35分) 【対応者：浮田課長、岡本妹川議員】

内容：資料請求を行うので内容確認をしたい。
・埋立工事は町が発注したものか？ → していない。
・当該水路の埋立前の写真が欲しい等の内容。

上が妹川議員、下が1行消えたN氏への開示文書

③令和3年8月19日(木)
妹川議員 窓口応対(16時00分～16時35分) 【対応者：浮田課長、岡本妹川議員】

内容：資料請求を行うので内容確認をしたい。
・当該水路の埋立前の写真が欲しい等の内容。

開示文書

※本会議最終日に執行部より回答がありましたので p20 に掲載しています。

視察レポート①

行政視察

日程：9月20日（火）～22日（木）

視察先：ボートレース尼崎、鳥取砂丘砂の美術館、
ボートレース丸亀、今治市クリーンセンター

視察者：横尾武志、本田浩、信国浩、萩原洋子、長島毅、中西智昭

唯一無二の砂の彫刻大型室内展示場を視察

視察先の尼崎では、最新のモーヴィーを、丸亀ではナイトー施設と建設中のモーヴィーを視察しましたが、改めてモーヴィー芦屋の規模の大きさと遊具種類の充実さを実感しました。

鳥取市の砂の美術館では、芦屋町に同規模の大型室内展示場が建設予定となっている事から、美術館内を「芦屋町であれば」とイメージ



鳥取砂丘砂の美術館

しながら視察しました。この施設は年間40万人ほどの入場者があり、関西方面の方が多くリピート率は20%あることなど説明を受けました。鳥取市は砂丘観光が有名ですが、芦屋町は隣接する北九州市をはじめ周辺人口が多いことから来町者のリピート率向上への工夫が観光力向上への課題だと感じました。

今治市クリーンセンターでは日頃からレクリエーション施設として地域に開放されているごみ処理場と防災施設が一体となったバリクリーンを視察しました。視察で得た情報は、今後の安心・安全な町づくりや観光地としての町づくりの参考となりました。

議会広報

委員会視察

日程：10月5日（水）～7日（金）

視察先：北海道鷹栖町議会、北海道訓子府町議会

視察者：萩原洋子、信国浩、内海猛年、本田浩、長島毅、中西智昭

住民目線に立った広報誌づくり

今回3年ぶりの視察先は、町村議会広報全国コンクール上位の鷹栖町議会と訓子府町議会でした。鷹栖町議会は新聞折込のようなチラシで町民に情報を発信し、傍聴者へ周知を図っていました。議会傍聴ガイドブックの作成や、傍聴者が一般質問を評価するための「通信簿」を導入するなど、斬新なアイデアが生まれたのは、3期連続無投票選挙で危機感を覚え、広報を後押ししたとのことでした。また、議長の「責任は自分が取るからやってみよう」と励ましの言葉はとても印象に残りました。

訓子府町議会では、町民から選定した議会モニターの意見を参考にした紙面づくりや、一般質問の内容を振り返ったコーナーを掲載するな

ど、町民目線に立った広報づくりに取り組んでいました。

今回学んだ先進的な企画・構成を取り入れ、読みやすく町民に開かれた議会広報誌を目指していきたいです。また、議会広報誌は作成することだけに留まらず、議会改革の視点も踏まえ、町民の負託に応えたいと思います。



鷹栖町議会の視察の様子

民生文教 委員会視察

日程：10月12日（水）～14日（金）

視察先：鴻巣市役所、境町役場、泉屋博古館

視察者：松岡泉、中西智昭、小田武人

内海猛年、川上誠一、萩原洋子

A I やデジタルを活用した町づくり

今回の視察先は埼玉県鴻巣市立中央図書館と茨城県境町自動運転バスなどを視察しました。

鴻巣市立中央図書館では電子図書を導入しており、ネット回線を活用した図書館サービスを行っていました。通信の利便性により、コロナ禍でも安心して読書ができるなどの利点が見えた一方、電子図書の導入は初期投資が高額なため、図書の利用者数や予算の見直しなどが必要と感じました。

境町では国の地方創生交付金を活用し、全国で初の取り組みとなる自動運転バスの実証運行を行っています。乗車した感想は、時速20kmのため安全性は確保できるが、渋滞が発生するなど、主要道路での運行は厳しいと感じました。

その事業を受託している「株式会社さかいまちづくり公社」は観光協会であった組織を法人化し、「道の駅さかい」の管理・運営や「ふるさと納税」の受託を行っています。

芦屋町としてもA I やデジタル化の視点を取り入れた町づくりを目指していくことが必要だと感じました。



自動運転バス

妹川議員一般質問への回答

9月定例会での妹川議員の一般質問に町はすぐに答えられなかったため、議会最終日に改めて回答しました。

問 なぜ文書を消したのか。

答 調べた結果、作成過程の文書と、すでに報告済の内容を省略して決裁を受けた文書のふたつが存在したために起きた事務のミスである。

妹川議員の資料請求には作成過程の文書を、情報公開では報告済みの内容を省略して決裁を受けた文書を回答してしまったため、一文が消えた形となってしまった。

問 どちらの文書が正しいのか。

答 2つの文書はどちらも公文書である。

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。録画中継は本会議当日から7日以内（土日祝日のぞく）に配信します。



録画中継で見た表決の様子



録画中継ページ

議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は12月8日開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望する場合は議会事務局にお問い合わせください。（Tel 223-3579）

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、傍聴を断りする可能性がありますので、ご了承ください。

議会の活動を報告します

清掃ボランティア

日程：10月8日（土）

場所：芦屋海岸

参加者：辻本一夫、内海猛年、小田武人、松岡泉
本田浩、信国浩、萩原洋子、長島毅

10月8日（土）に芦屋町役場職員、航空自衛隊芦屋基地隊員とその家族のみなさんと一緒に芦屋海岸でボランティア清掃に参加しました。

「あしや砂像展 2022」の開催に向け、総勢210人のボランティアが、きれいな芦屋海岸であしや砂像展を楽しんでいただくために汗を

かきました。ごみの集積場にはたくさんのごみが集められ、ごみの漂着物や不法投棄の多さを実感しました。しかし、清掃後は芦屋海岸がきれいになったことへの達成感を感じました。



清掃の様子



清掃後集合写真

遠賀郡議長会 議員研修会

日程：10月25日（火）

場所：岡垣サンリーアイ

参加者：辻本一夫、内海猛年、小田武人、川上誠一、松岡泉
本田浩、信国浩、萩原洋子、長島毅、中西智昭

今回の研修会は、熊本地震や熊本豪雨災害などで活動された、陸上自衛隊小倉駐屯地3等陸佐吉山将志氏の貴重な経験からの講演でした。

大災害が発生した場合、よくテレビで自衛隊の救助活動の様子を目の当たりにすることがありますが、入浴支援や巡回医療、慰問演奏など、被災者の生活を支えるさまざまな支援の様子を知ることができました。

もしも芦屋町に大災害が発生した場合、自助・共助も必要ですが、まずは公的支援が望まれます。そこで課題になるのが連携です。すぐに災害派遣を受けるためには、町と自衛隊など各関係機関との連携、住民間の連携、そして議員と

の連携などが重要になってきます。

日頃から情報共有などの連携を意識した災害対策のシステムを構築する必要があると感じました。



研修会の様子

町かどインタビュー



町内の小学5年生が稲刈り体験をしたっちゃ！
みんな楽しそうっちゃ！

30年続く稲刈り体験 ～子どもたちに稲作の大変さを伝える～

稲刈り体験をした

芦屋東小学校5年生

守田翔琉さん(右)
山本典加さん(左)



Q 稲刈り体験に参加してどうでしたか。

A 守田さん 初めての稲刈り体験はとても楽しかったです。

A 山本さん 5月に田植えをした時は5センチほどだった

苗が思った以上に大きくなっていったのに驚きました。大きくなった稲を鎌で刈る時のギザギザした感触がとても面白かったです。

Q この体験で学んだことはありますか。

A 守田さん 今回、農業の手伝いを経験したことで、将来大人になった時にきつと役立つと思います。

A 山本さん 5月に田植えした時はとても暑くて大変でした。こんなにお米を作るのが大変なのだと知りました。これからは、感謝の気持ちで食べたいと思います。

稲刈り体験を手伝う

JA北九青年部 芦屋支会長

安高寿倫さん



Q この稲刈り体験はどれくらい続いているのですか。

A 私が小学4年生の時に始まったので、30年前から続いています。その間ずっと農協青年部がお手伝いしています。

Q なぜこの活動を続けているのですか。

A 最近は何でも手軽に手に入る時代になりました。しかし、子どもたちには食べる物を作る大変さを少しでも伝えていきたいの思いで続けています。

編集後記

秋と言えば読書の秋、食欲の秋、いろいろと楽しみが広がります。稲刈りも終わり、新米が食べられるのも楽しみの一つです。

今回、子どもたちが稲刈りしたのは「もち米」です。稲刈りの後は餅つき。

そろそろ12月、次はおいしいお餅が食べられる時期になります。これからも昔ながらの行事が続いてほしいと思います。そして、私も感謝しながら食べたいと思います。

萩原 洋子



取材風景

【発行責任者】

議長 辻本 一夫

【議会広報常任委員会】

委員長 萩原 洋子
副委員長 信国 浩
委員 内海 猛年
委員 本田 浩
委員 長島 毅
委員 中西 智昭